

憲法違反の国葬強行に抗議する！ ミナセンなかどおりに賛同して一市民として
9.27 郡山市役所前アクションに参加された A さん(匿名)の発言

「明治の日」制定を画策する復古主義的議連の危険性

2015年に 35 万人もの国民が国会を取り囲む反対を無視し強行採決。米国の要求にいと簡単に屈服した。結果中国大陸の円弧状につらなる沖縄 鹿児島県馬毛島 先島諸島宮古島 与那国島石垣島 南西諸島 フィリピンと続くいわゆる第一列島線上での偶発的な戦争 台湾有事を想定し、日米は「戦争法」の集団的自衛権を根拠に第一列島線上の島々の軍事的要塞化を急いでいます。ミサイル基地飛行場 軍港(辺野古含む) 弾薬庫 兵站庫 オスプレイ F35A/F35B 格納庫など日米で共同使用のプラットホームとして一旦台湾有事等で集団的自衛権の行使となれば、これら第一列島線上の島々は、ミサイルはもとより血で血を洗う地上戦の戦地として犠牲になる恐れがあります。これらの島々で今まで平和に暮らして来た人々を逃げ場の無い危険に晒すことになります。さらにこれらの島々の防衛は当然米国ではなく自衛隊の若者2万人以上が新たに配備されるものとなります。島の以前からの住民と自衛隊の若者の命を米国に差し出した安倍元総理の責任は重大であります。日本国民の命を米国に差し出したことは許されません。米国は自国の若者の代わりに同盟国に戦争犠牲者を転嫁しようと試み、安倍氏の軽々と無分別な性格を見透かし、甘言巧みにそそのかし「戦争法」を成立させる事に成功したのです。当時在日米大使館は深夜国会での強行採決で日本が憲法9条の枠を飛び越し一部集団的自衛権の容認を決めた事を至急電で米本国へ発した事が報道された事は今でも記憶に新しい事です。米国の歓喜の様子が想像できます。

日本人の多くは台湾有事で米中が本気で戦うなど思っている人は少ないかもしれない。しかし戦争における開戦の口実はいつの時代も同じだ、攻撃されたから「自衛のための戦争だ」、そして一旦始まったらこの「自衛のための戦争」はやめる時機が大変困難だ、この事はベトナム戦争が示している。当時ベトナム戦争を指揮したマクナマラ国防長官は晩年の自身の回想録の中でベトナム戦争は米国の自作自演の戦争であった旨、そしてその後も起きる多くの米国主導の戦争やイラク戦争などについてこう述べている、人間とは愚かなものだ、過ちを繰り返す。今、私達は過去に起きた、起こした戦争について世代間を縦断した冷静な討議総括をするべきかも知れません。満洲事変 日中戦争 韓国併合 朝鮮戦争 ベトナム戦争、これらの正確な歴史検証をし、正しい歴史評価を後世に伝えていくことが求められています。この作業の中で人間が過ちを繰り返すのなら、繰り返さないための答えが歴史の中にあるのではないかと、たとえば1931年から1945年までの15年戦争と言われるアジア太平洋戦争に



郡山市役所前で国葬強行に抗議する市民

かかわった私達の父親世代は何故か口を開かず、15年戦争について多くを語ろうとはしなかったような気がします。小さい頃祖父や祖母は食べるものも無く戦争は絶対しない方がいいとよく聞かされました。父親世代は天皇が最高指揮官であった15年戦争に対し評価をためらったのではないだろうか。

今11月3日は文化の日であるが今の平和憲法が公布された日でもあります。しかし自民党の一部の復古主義的議員たちが11月3日(11月3日は明治天皇の誕生日で明治憲法下では天長節として祝った)を「明治の日」としたいと水面下で動きがある事を9月13日のある方の勉強会で教えていただきました。この事が事実なら大変危険な兆候で看過出来ず、反対の声を今からすぐに出し、国民の意見を求める必要があります。

明治憲法下で天皇の役割が如何に国民を盲目的に究極の苦役にさらしたか、率直に改めて議論する事を躊躇すべきでは無いと考えます。この様な行動が戦争を未然に防ぐ事につながる可能性があるのであれば躊躇する合理性は無いと思えるのです。ある意味この安倍政権の10年は安倍天皇の専制君主制であった時代とも言え、このことを多くの世代間で冷静な議論で再考するのが大事なことを考えています。個人より家庭や家が大事の考え方は危険な要素を含むとの示唆もありました。戦争を知らない世代に如何に人間の愚かさを伝えられるか、孫の世代を如何にして戦争から遠ざけられるか、我々の力量が試されているように思っています。私も多分残された時間は短いと思いますが、安倍元総理の不自然な急な逝去を最大限政治利用する自民党の考えを容認することは出来ません。身体が動く限り出来るだけ大きな声を上げて反対していきたいと思いを強くする今日の情勢であります。

2022年9月27日

10.13 県知事選が公示される

草野よしあき候補が汚染水の海洋放出ストップを訴える

草野候補は13日15時より郡山駅西口広場にて約100名の支持者を前に政策を訴えた。自民党政治と一体の県政を変え、汚染水の海洋放出ストップ、高校の統廃合を凍結、子育て、教育、医療、福祉の予算を増やす、県民の暮らしを応援し、県民の立場で国にはつきりものが言える県政をつくっていこうと訴えた。



16日18:30から郡山決起集会が労働福祉会館で約80名の支持者が参加して行われた。草野候補は「私たちの闘いは全国から注目されています。私が汚染水の放出をストップさせれば、全国で原発に反対している人たちが励まされるし、県立高校の統廃合をストップさせて地域の高校を守る取り組みをしたら、全国で取り組みをしている人たちの励みにもなります。国の圧力に負けず先頭に立つのが県知事です。福島を変えれば、全国も変わる可能性があります。私が66年生きてきた中で、自分でも気づかない力、秘められた力があると思う、知事選に勝利して、私が知事になった場合その力が生かせると思っています」と力強く訴えました。



をストップさせて地域の高校を守る取り組みをしたら、全国で取り組みをしている人たちの励みにもなります。国の圧力に負けず先頭に立つのが県知事です。福島を変えれば、全国も変わる可能性があります。私が66年生きてきた中で、自分でも気づかない力、秘められた力があると思う、知事選に勝利して、私が知事になった場合その力が生かせると思っています」と力強く訴えました。

詳細は全国革新懇ホームページをご参照ください

「市民と野党の共闘」の新たな発展へ
いま学び、語ろう革新懇の役割
地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 東京 2022

11月19日(土) 13:30-17:00
砂防会館 3F 大ホール
入場料 1,000円 (学生 500円)

20日(日) 9:00-12:00
会場 演義
入場料 500円 (学生 250円)

主催：全国革新懇実行委員会
後援：各都道府県革新懇、各分野革新懇、各団体

全国革新懇は二月16日(土)、20日(日)の両日、東京都内で地域・職場・青年革新懇全国交流会を開催します。今回は、昨年の総選挙、今年の参院選挙での「市民と野党の共闘」の取り組みもふまえ、革新懇運動の役割について各地各分野の経験を交流し、共闘の新たな発展を探索します。

革新懇全国交流会が開催されます



郡山市革新懇 HP



九条の会ブックレット
新たな改憲の危機と
九条の会運動の意義

ご購入のお申し込み先
郡山九条の会 伊藤洋
菅原

定価500円

清風

郡山市革新懇の礎
を築いてくださった

弁護士大堀有介先生の計
報に接しました。誠に残念
でなりません。

一九八一年、いわゆる
「社公合意」なるもので
大々的な革新分断攻撃が
かけられました。反共を基
に徹底した「共産を除く」
が政界でも労働組合で
も。その時、国民との共同
と連帯をあくまでも追求
し、統一戦線運動を進め
る全国革新懇が結成され
ました。郡山でも翌年結
成されました。その要にな
った事務室を担ったのが
大堀先生です。

以来、郡山においては、
イラク戦争反対、九条の
会結成、原発事故・沖縄
と連帯する郡山の会等の
運動で、思想信条立場の
違いを超えた市民の結集
と共同が進められてきま
した。郡山市を代表する
ような政治家、文化人を
はじめ多くの良心の結集
がはかられました。

まさに、国民の共同と連
帯の力で社会を前に進め
る。物静かな語り口でした
が大堀先生は一貫してそ
れを訴えておられました。

ご冥福をお祈りします。

(菅原信正)